

(別紙1) 機器仕様

(1) 省スペース型プリンタ(ホッパ二段)

型番	PR-L3M530
品名	MultiWriter3M530
数量	45
プリント方式	LED乾式電子写真方式
連続プリント速度	片面 A4横 33頁/分
	両面 A4横 22.4頁/分
ファーストプリント時間	約7.5秒
解像度	600×600dpi
形態	二段ホッパ装着時 W499.4mm*D517.8mm*H550mm以下 *セット伸長時
用紙サイズ	A5～A3、及び不定形用紙に対応していること
印字色	白黒
ホッパ手差し容量/数	一段300枚の普通紙挿入可能 (増設ホッパは600枚)
	ホッパ二段+手差し1個(110枚)
排紙容量	フェイスダウン方式 普通紙270枚
耐久性	・5年 ・120万頁
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ容量：2GB ・TCP/IPに対応し、ネットワークプリンタとして使用可能であること ・窓口での納付書及び納税証明書等の印刷が遅滞なく行えること ・バーコード(EAN128)印字が常時支障なく印刷できること ・QRコード印字が常時支障なく印刷できること ・OCR-Bフォント文字が常時支障なく印刷できること ・現行プリンタで使用しているIPアドレスを使用すること ・メーカー純正リサイクルトナーがあること

※バーコード印字及びOCR-Bフォント文字については、導入予定機器についての印字テストを実施し、不適合となった場合は適合する機器に変更すること。【この場合の経費の増額は認めない】
※全て同型とすること。

(2) 省スペース型プリンタ(ホッパ四段)

型番	PR-L3M530
品名	MultiWriter3M530
数量	8
プリント方式	LED乾式電子写真方式
連続プリント速度	片面 A4横 33頁/分
	両面 A4横 22.4頁/分
ファーストプリント時間	約7.5秒
解像度	600×600dpi
形態	四段ホッパ装着時 W499.4mm*D517.8mm*H7500mm以下 *セット伸長時
用紙サイズ	A5～A3、及び不定形用紙に対応していること
印字色	白黒
ホッパ手差し容量/数	一段300枚の普通紙挿入可能 (増設ホッパは600枚)
	ホッパ四段+手差し1個(110枚)
排紙容量	フェイスダウン方式 普通紙270枚
耐久性	・5年 ・120万頁
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ容量：2GB ・TCP/IPに対応し、ネットワークプリンタとして使用可能であること ・窓口での納付書及び納税証明書等の印刷が遅滞なく行えること ・バーコード(EAN128)印字が常時支障なく印刷できること ・QRコード印字が常時支障なく印刷できること ・OCR-Bフォント文字が常時支障なく印刷できること ・現行プリンタで使用しているIPアドレスを使用すること ・メーカー純正リサイクルトナーがあること

※バーコード印字及びOCR-Bフォント文字については、導入予定機器についての印字テストを実施し、不適合となった場合は適合する機器に変更すること。【この場合の経費の増額は認めない】
※全て同型とすること。

(3) 据え置き型プリンタ(ホッパ四段)

型番	PR-L3C751A
品名	ColorMultiWriter3C751A
数量	4
プリント方式	LED乾式電子写真方式
連続プリント速度	片面 A4横 55頁/分
	両面 A4横 55頁/分
ファーストプリント時間	モノクロ 約3.5秒
解像度	1,200×1,200dpi
形態	排紙スタッカ装着時 W620mm*D720.5mm*H806.5mm
用紙サイズ	A5～A3、及び不定形用紙に対応していること
印字色	白黒
ホッパ手差し容量/数	<ul style="list-style-type: none"> ・一段600枚以上の普通紙挿入可能 ・ホッパ四段以上+手差し110枚
フィニッシャー	あり3台、なし1台
排紙容量	<ul style="list-style-type: none"> ・ステープル及びパンチができる機能を搭載し、最大3,500枚の排出が可能 ・フェイスダウントレイに普通紙400枚以上蓄積
耐久性	・5年 ・300万頁
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ容量：4GB ・TCP/IPに対応し、ネットワークプリンタとして使用可能であること ・バーコード(EAN128)印字が常時支障なく印刷できること ・QRコード印字が常時支障なく印刷できること ・OCR-Bフォント文字が常時支障なく印刷できること ・現行プリンタで使用しているIPアドレスを使用すること

※バーコード印字及びOCR-Bフォント文字については、導入予定機器についての印字テストを実施し、不適合となった場合は適合する機器に変更すること。【この場合の経費の増額は認めない】
※全て同型とすること。